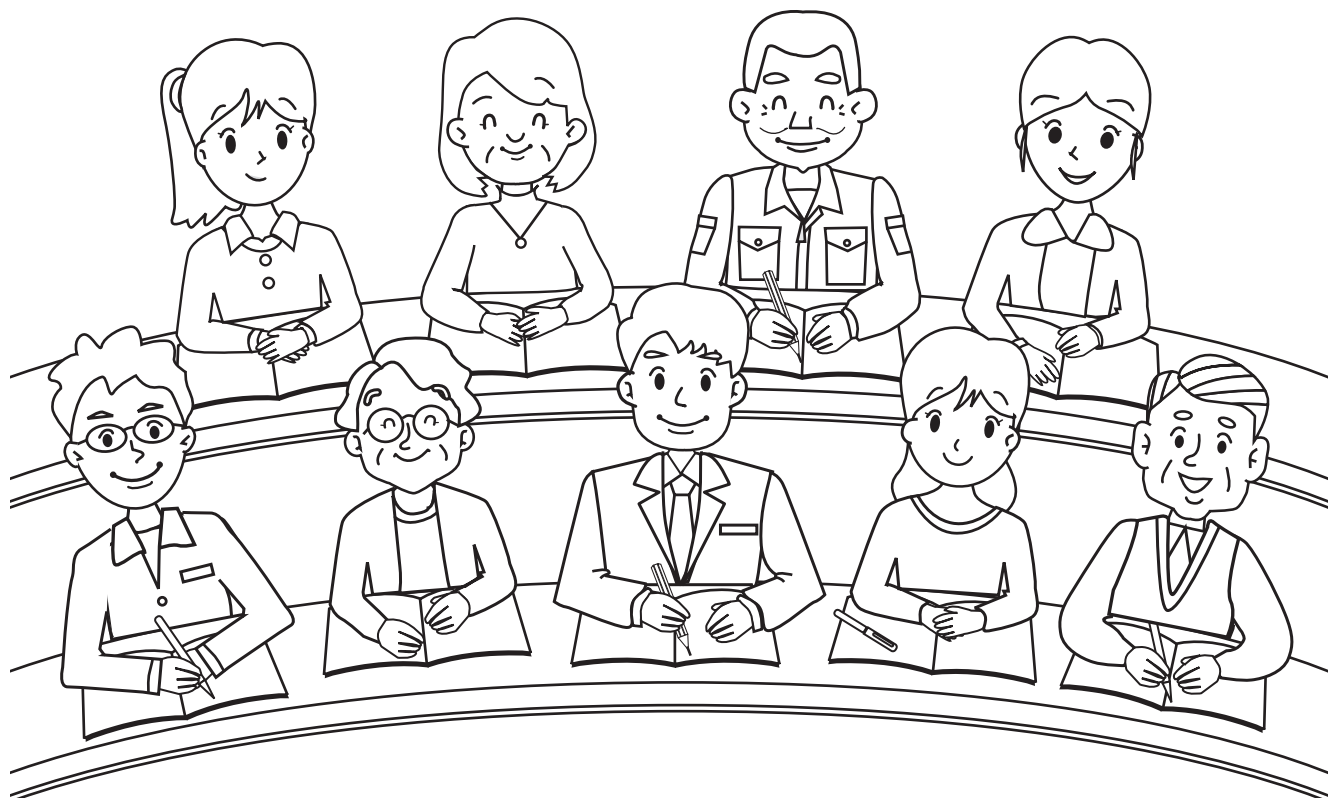


令和7年度 共同授業学生募集案内



ふじのくに地域・大学コンソーシアム
西部地域連携事業実施委員会 共同授業部会

共同授業参加大学

静 岡 大 学
静 岡 文 化 芸 術 大 学
常 葉 大 学
聖 隷 クリ ス ト フ ァ ー 大 学
浜 松 学 院 大 学 ・ 短 期 大 学 部
静 岡 理 工 科 大 学
静 岡 産 業 大 学

単位認定校／聖隷クリストファー大学

◇目次

●共同授業について	-----	P 1
●出願手続きについて	-----	P 2～P 3
●ガイダンスについて	-----	P 4
●共同授業の内容について	-----	P 4～P 6
●会場案内について	-----	P 7
●講義概要について	-----	P 8～P 17
●問い合わせ先について	-----	P 18

公益社団法人ふじのくに地域・大学コンソーシアム
ホームページ (fujinokuni-consortium.or.jp)

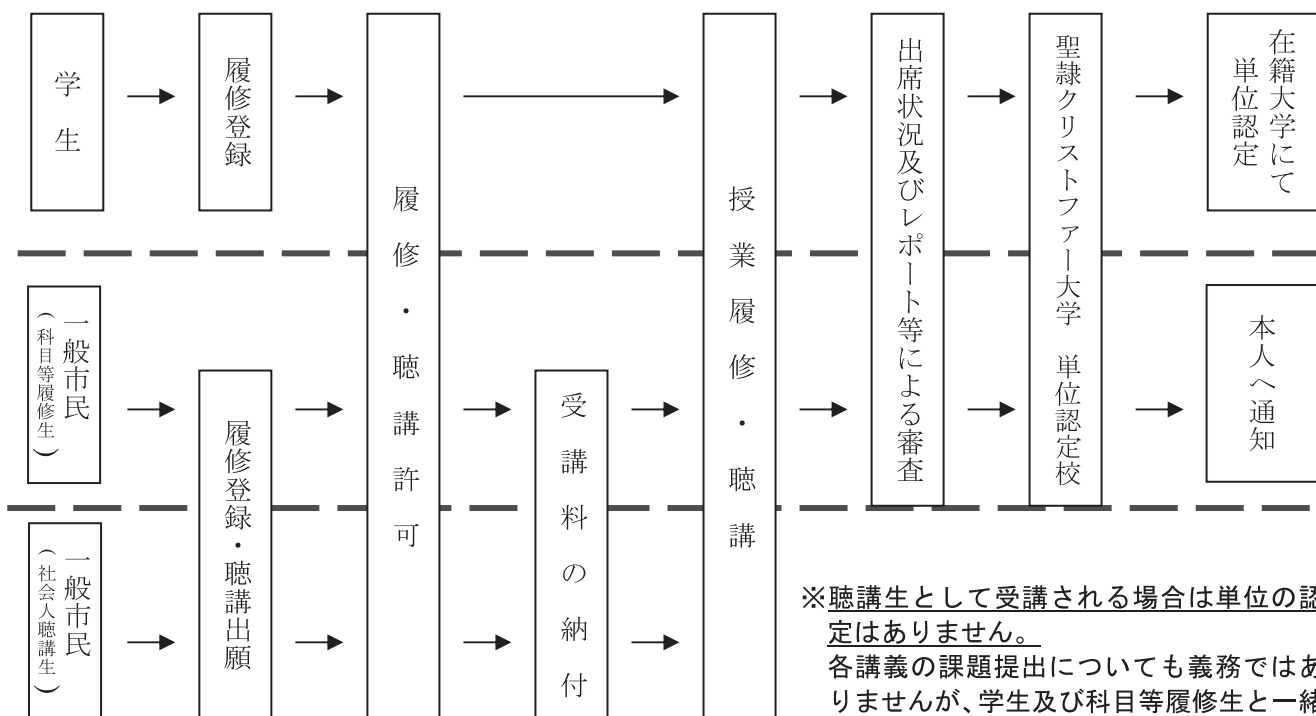


◇共同授業について

- 共同授業は、ふじのくに地域・大学コンソーシアム西部地域連携事業実施委員会共同授業部会に参加する7大学（以下「共同授業参加大学」という。）が協力して、共同で行う授業です。
- 授業は、共同授業参加大学の教授陣により、オムニバス形式で行います。
- レポート及び出席状況等による成績基準を満たせば単位の取得ができます。（ただし、一般市民の方が「聴講生」として受講する場合、単位の付与はありません。）
- 共同授業参加大学の教員や学生、市民の方々に交流の場を提供します。
- 共同授業の履修者は、共同授業参加大学の図書館を利用することができます。

〈共同授業の聴講及び単位認定までの流れ〉

- 令和7年度の共同授業は、聖隷クリストファー大学が単位認定校です。



※聴講生として受講される場合は単位の認定はありません。
各講義の課題提出についても義務ではありませんが、学生及び科目等履修生と一緒に、積極的に取り組んでみて下さい。

◇学生の出願手続きについて

1 申込者の資格

○以下の共同授業参加大学に在籍している学生

静岡県立大学

静岡文化芸術大学

常葉大学

聖隷クリストファー大学

浜松学院大学・短期大学部

静岡理工科大学

静岡産業大学

※大学院生については、原則聴講のみとさせていただきます。単位取得を希望される場合は、所属大学へお問い合わせください。

2 出願方法・期間等

○出願は在籍する大学の履修登録窓口で受け付けます。

○在籍する大学の定める期間内（各大学から単位認定校に7月末までに提出します）に「共同授業出願票」を提出してください。

3 履修許可

○履修許可は、在籍する大学を通して通知します。なお、申込者多数の場合は、抽選等を行う場合があります。

○許可を受けた方は、授業初日の10月4日（土）9時15分に行われるガイダンスに必ず出席の上、授業を受けてください。

4 取得単位

○レポート及び出席状況等による成績基準を満たせば、聖隷クリストファー大学の「大学間交流授業」（2単位）の単位取得ができます。また、当該取得単位は、在籍する大学で、これに相当する科目の単位として認定することもできます。（下表参照）

共同授業参加大学	単位認定科目
静岡大学	学際領域B「人間と環境」
静岡文化芸術大学	「人間科学特論」又は「特別共同授業A」
常葉大学	「総合科目A」又は「総合科目B」
聖隷クリストファー大学	「大学間交流授業」
浜松学院大学	「総合科目Ⅱ」
浜松学院大学短期大学部	「総合科目A」又は「総合科目B」
静岡理工科大学	「特別共同講義」
静岡産業大学	「特別共同講義」

※在籍する大学での単位認定については、履修登録窓口にお問い合わせください。

◇一般市民の出願手続きについて

1 申込者の資格

高校卒業もしくは同等の学力を有すると認められる方

2 受講種別

○科目等履修生（履修登録料 22,000 円）

レポート及び出席状況等による成績基準を満たせば、聖隷クリストファー大学の単位が取得できます。

○聴講生（聴講料 8,000 円）

授業の聴講のみで単位の認定はありません。各講義のレポート提出についても義務ではありませんが、学生及び科目等履修生と一緒に、積極的に取り組んでみてください。

3 出願方法・出願期間等

○出願期間 令和7年7月1日（火）～8月22日（金）

窓口での出願については土・日・祝日及び8月14日～19日を除く。

受付時間は8時30分～17時00分

○出願書類 「共同授業出願票」

○提出先 静岡大学 浜松教務課共通教育係（郵送・持参・Webのいずれか）

〒432-8561 浜松市中央区城北3-5-1

TEL 053-478-1006 FAX 053-471-0249

Web出願 <https://forms.office.com/r/i2m4qPnahm>

※出願等についてご不明な点は上記までお問い合わせください。

令和7年度
大学共同授業
聴講生・科目履修生募集



4 履修許可・聴講許可・手続き

○履修許可・聴講許可は、8月末日までに通知（郵送）します。なお、申込者多数の場合は、抽選等を行う場合があります。

○許可通知を受けた方は、次の手続きを行ってください。

・科目等履修生の方は履修登録料（22,000 円）を、聴講生の方は聴講料（8,000 円）を、9月12日（金）までに次の指定口座にお振込みください。

【振込先】

スルガ銀行 静岡県庁支店 普通預金 1705055

シャ.フジノクニチイキダイガクコンソーシアム

※振込人名は、履修者・聴講者本人名にてお願いします。

※振込手数料は各自でご負担いただくようお願いします。

5 取得単位

○科目等履修生の方は、レポート及び出席状況等による成績基準を満たせば、聖隷クリストファー大学の「大学間交流授業」（2単位）の単位取得ができます。

○聴講生の方は、単位の認定はありません。

○令和4年度より、本授業は「しずおか県民カレッジ」の連携講座となっています。

◇ガイダンスについて

日 時：令和7年10月4日（土）9：15～9：30

会 場：静岡文化芸術大学（浜松市中央区中央 2-1-1 TEL 053-457-6105）

教室は履修許可通知を送付する際（8月下旬予定）にご案内いたします。

○受講における注意事項などについて説明します。初回の受付を済ませた上で、必ず出席してください。

◇共同授業の内容について

1 開講期間 令和7年10月4日（土）～令和7年12月20日（土）のうち8土曜日

2 講義会場 静岡文化芸術大学（各回の教室はガイダンスにて連絡します。）

3 講義テーマ

「人間と環境」－「2025年問題から考える共生社会への提言」－

【テーマ説明】 団塊の世代が全員75才以上の後期高齢者となる2025年以降、超少子高齢社会である日本は、今まで経験したことのないさまざまな問題に直面することが予測され、それらを見据えた社会福祉、社会保障のあり方の一つとして「地域共生社会」構築が提唱されています。

もとより「共生社会」とは多義的な概念であり、障害のあるなし、大人も子どもも、国籍やジェンダーの違いに囚われず、誰もが生き生きとした社会（インクルージョン、ダイバーシティの実現）づくりを目指すものであるといえます。

そこで、2025年度ふじのくに地域・大学コンソーシアム西部地域共同授業では、「2025年問題」を契機としながら、「共生」をテーマに各大学の専門家からの提言となる講義を実施し、あらためて私たちができることを学生や地域社会の皆さんと共に考える機会といたします。

4 講義日程 9:30～12:40 (第1回のみ9:15よりガイダンスを実施)

回	期日	講義回数	担当講師
			講義テーマ
第1回	10月4日 (土)	ガイダンス	9:15～9:30
		第1講 第2講	静岡大学 情報学部 情報社会学科 准教授 藤岡 伸明 外国人県民の増加と多文化共生の取り組み
第2回	10月11日 (土)	第3講 第4講	静岡文化芸術大学 文化政策学部 准教授 野島 那津子 誰が、何のために「共生」するのか:「共生」をめぐる批判的考察
		第5講 第6講	静岡産業大学 経営学部 准教授 岩本 武範 ウェルビーイングな「社会サービス」のつくり方
第4回	10月25日 (土)	第7講 第8講	静岡大学 工学部 准教授 佐野 吉彦 知識習得からはじめる人工透析への認知
		第9講 第10講	静岡理工科大学 理工学部 建築学科 教授 長尾 亜子 高齢者のウェルビーイングを実現する住空間
第6回	11月15日 (土)	第11講 第12講	常葉大学 保健医療学部 作業療法学科 教授 篠原 和也 一人ひとりの暮らしと生きがいを振り返る—作業療法の理論を用いて—
		特別公開講座 第13講 特別公開講座 第14講	聖隷クリストファー大学 社会福祉学部長 佐藤 順子 少子高齢社会における福祉政策の動向と課題 —「地域共生社会」の構築における住民参加への期待に対する一考察— 聖隷クリストファー大学 社会福祉学研究所長 川向 雅弘 共生社会の実現と障害がある人への支援 —「障害」をめぐる、過去・現在・これから—
第8回	12月6日 (土)	第15講 第16講	浜松学院大学 地域共創学部 地域経営学科 講師 清水 友理子 観光業における女性の労働と地域社会 浜松学院大学 短期大学部 幼児教育科 教授 松澤 俊行 「ユニバーサルスポーツ」を考える
		予備日	12月13日 (土)
予備日	12月20日 (土)		臨時休講が発生した場合の予備日

○講義時間は、①9:30～11:00(90分)、②11:10～12:40(90分)となります。

○上記の講義日程は会場校(静岡文化芸術大学)または講師の都合により変更となることがあります。

5 評価方法(聴講生を除く)

(1)授業の評価は、次の①②により、課題の点数の合計に基づき、ふじのくに地域・大学コンソーシアム西部地域連携事業実施委員会共同授業部会が行います。

① 全講師が課題を提示し、各回10点満点で採点します。

②全8回分を合計したものに(80点満点)、1.25をかけて100点満点に換算し(小数点以下は切り上げ)、S(100～90点)、A(89～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)で評価します。

③次のア・イの両方を満たす場合に限り、S・A・B・Cの者に単位を授与します。

ア 全16講(全8回×2講)のうち10講以上の出席

イ 課題提出が全8回のうち5回以上で、上記②でC以上の評価

(2)共同授業部会による授業の評価を受けて、単位認定校(聖隷クリストファー大学)が単位修得に関する証明書を交付します。

(3)なお、共同授業参加大学の学生は、その後、所属大学が最終的な評価を行います。その方法や必要な手続き等については所属大学の担当部署に確認してください。

6 臨時休講に関する措置について

以下の(1)～(5)に該当する場合は、臨時休講とします。なお、臨時休講した場合の対応については、別途お知らせします。

- (1) 午前7時から午前9時の間で、静岡県西部、中部あるいは愛知県東部のいずれかに「暴風警報」、もしくは「南海トラフ地震臨時情報」が発表されたとき、または会場校所在地（浜松市中央区中央、アクト地区）にレベル4以上の避難情報（緊急避難情報、避難指示）が発表されたときは、**当日すべての授業を休講**とする。
- (2) 午前9時以降（第1限目講義中含む）に、静岡県西部、中部あるいは愛知県東部のいずれかに「暴風警報」、もしくは「南海トラフ地震臨時情報」が発表されたとき、または会場校所在地（浜松市中央区中央、アクト地区）にレベル4以上の避難情報（緊急避難情報、避難指示）が発表されたときは、**第1限目を開講し、その終了後、第2限目の授業を休講**とし別の日に補講をする。

※(1)・(2)の具体事例

Q1 午前9時15分に対象地域に暴風警報が発令された場合は、開講されますか？

A1 上記の(2)にあてはまるため、**第1限目は開講し、第2限目は休講**とします。

Q2 午前7時時点で対象地域に暴風警報が発令されていたが、その後、午前7時15分に全ての対象地域において、暴風警報が解除された。授業は開講されますか？

A2 午前7時から午前9時の間で対象地域に暴風警報が発令されている時点で、上記の(1)にあてはまるため、**全て休講**とします。

- (3) 午前7時時点でJ R 東海、遠鉄電車、遠鉄バスのストライキが解除されない場合は当日すべての授業を休講とする。なお、午前7時現在、ストライキが解除された場合は、平常通り授業を行う。
- (4) 交通機関により計画的な運休が発表された場合、対象路線や運休期間等の発表内容に基づき、休講とすることがある。
- (5) 上記以外の場合でも授業を行うことが困難な場合は休講とすることがある。

※上記の地域区分は次のとおりで、気象庁の発表区域に基づいています。

(気象庁 WEB ページ <http://www.jma.go.jp/jma/index.html>)

静岡県西部…遠州北（浜松市北部）、遠州南（浜松市南部、磐田市、掛川市、袋井市、湖西市、御前崎市、菊川市、森町）

静岡県中部…中部南（静岡市南部、島田市、焼津市、藤枝市、牧野原市、吉田町）
中部北（静岡市北部、川根本町）

愛知県東部…西三河北東部（豊田市東部）、東三河北部（新城市、設楽町、東栄町、豊根村）、東三河南部（豊橋市、豊川市、蒲郡市、田原市）

7 グループワーク実施について

一部の回ではグループワークを実施します。事務局により任意のグループを編成しますので予めご了承ください。

※第7回（第13、14講）では特別公開講座のため、グループワークは実施しません。

◇会場案内について



静岡文化芸術大学

〒430-8533 浜松市中央区中央2-1-1

TEL 053-457-6114 (担当：教務・学生室)

JR浜松駅から徒歩約15分

遠州鉄道「遠州病院駅」下車、徒歩8分

【浜松駅からバスをご利用の場合】

遠鉄バス（10分間隔で運行しています）

浜松駅北口バスターミナル10番のりば

バス停「文化芸術大学」下車

※10番のりばから出ているバスは、「文化芸術大学」バス停を通ります。ただし、系統番号70番「子安・笠井行」・系統番号2番「早出・イオン市野行」を除きます。

※会場に駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

◇講義概要について

※ 講義は原則対面形式で実施しますが、新型コロナウイルスの感染拡大の状況に鑑みオンライン形式に切り替えることがあります。

第1回〈第1・2講〉令和7年10月4日（土） 9：30～12：40

◆講 師 静岡大学 情報学部 情報社会学科 准教授 藤岡 伸明

◆講義テーマ 外国人県民の増加と多文化共生の取り組み

◆講義内容

少子高齢化が進む日本では、人口減少の影響を和らげ、地域の文化と産業を担いうる存在として外国人に期待する動きが強まりつつある。静岡県も同様であり、多様な地域・分野で外国人の受け入れを拡大し、外国人と共生するための試行錯誤を続けてきた。本講義では、その現状と課題を県内で実施された最近の調査に注目して解説する。

◆課題実施方法

講義の最後にミニレポートを課す（10点）。基本はスマートフォン（またはノートPC、タブレット）による回答とするが、希望者には解答用紙を配布する。

◆参考図書等

徳田剛・二階堂裕子・魁生由美子（編）『地方発 多文化共生のしくみづくり』
晃洋書房、2023年

◆Eメールアドレス

fujioka-n@inf.shizuoka.ac.jp

【講師プロフィール】

◆専門分野

産業・労働社会学、国際社会学、移民研究

◆主な研究テーマ

労働のグローバル化（日本人の海外就業、日本の外国人労働者）
情報化と働き方の変化（ドローン普及の影響）

◆主な論文、著作、社会的な活動等

藤岡伸明『若年ノンエリート層と雇用・労働システムの国際化：オーストラリアのワーキングホリデー制度を利用する日本の若者のエスノグラフィー』福村出版、2017年

第2回〈第3・4講〉令和7年10月11日（土） 9：30～12：40

◆講師 静岡文化芸術大学 文化政策学部 准教授 野島 那津子

◆講義テーマ 誰が、何のために「共生」するのか：「共生」をめぐる批判的考察

◆講義内容

「共生」という言葉が人口に膾炙して久しいが、もともと生物学用語であった「共生」が、なぜ望ましい社会像を示す言葉として使用されているのだろうか。またその際に、なぜ特定の人々（たとえば障害者や外国人）に言及する必要があるのだろうか。本講義では、「共生」や「共生社会」標榜の背後にある、社会経済的な状況や排除の論理について考察する。

◆課題実施方法

授業終了時に作成するレポートを10点満点で評価する。

◆参考図書等

Fraser, Nancy and Axel Honneth, 2002, *Redistribution or Recognition? A Political-Philosophical Exchange*, Verso: New York. (=加藤泰史監訳, 2012, 『再分配か承認か? : 政治・哲学論争』法政大学出版社)

◆Eメールアドレス

n-nojima@suac.ac.jp

.....

【講師プロフィール】

◆専門分野

医療社会学、福祉社会論、社会的排除

◆主な研究テーマ

病いの語りの物質的基盤、「給付金のたかり屋」言説にみる病者・障害者の表象

◆主な論文、著作、社会的な活動等

主な論文に『『探求の語り』再考：病気を『受け入れていない』線維筋痛症患者の語りを通して』『社会学評論』69(1)：88-106、著書に『診断の社会学：「論争中の病」を患うということ』（慶応義塾大学出版会、2021年）がある。

第3回〈第5・6講〉令和7年10月18日（土） 9：30～12：40

◆講師 静岡産業大学 経営学部 准教授 岩本 武範

◆講義テーマ ウェルビーイングな「社会サービス」の作り方

◆講義内容

本講義では、超高齢社会における課題解決に向けて「ウェルビーイング」を基軸とした社会サービスの設計方法を学びます。2025年問題を背景に、地域共生社会の実現に必要な具体的施策を考察し、データマーケティングや政策評価の視点を取り入れながら、現実的で持続可能な社会構築の可能性を学生と共に探求します。

◆課題実施方法 授業終了時に作成するレポートを10点満点で評価する。

◆参考図書等 ウェルビーイング（日経文庫）

◆Eメールアドレス

t-iwamoto@ssu.ac.jp

.....

【講師プロフィール】

◆専門分野

都市社会工学，ウェルビーイング経営，データマーケティング

◆主な研究テーマ

ウェルビーイング政策評価，データドリブン意思決定など

◆主な論文、著作、社会的な活動等

スーパーマーケット白書2023（EBPMと小売業）

日本イノベーション融合学会理事・研究委員長 など

第4回〈第7・8講〉令和7年10月25日（土） 9：30～12：40

◆講 師 静岡大学 工学部 准教授 佐野 吉彦

◆講義テーマ 知識習得からはじめる人工透析への認知

◆講義内容

国内の慢性腎不全患者は35万を超えており、人工透析療法を受けている。本講義では人工透析の基本知識を身に付け、人工透析患者について理解を深めることを目的とする。講義内容は、統計に基づく慢性腎不全の原因と人工透析の仕組み・原理について解説するとともに、透析導入時の流れと患者の心理状態、さらに透析導入後の食事・運動について説明する。さらに透析に関する医療制度や講師が取り組んでいる未来の透析概要についても触れていく。

◆課題実施方法

授業終了時に作成するレポートを10点満点で評価する。

◆参考図書等

特になし

◆Eメールアドレス

sano.yoshihiko@shizuoka.ac.jp

.....

【講師プロフィール】

◆専門分野

医療工学，輸送工学，食品工学

◆主な研究テーマ

パーソナライズされた透析&貧血診療装置の開発

◆主な論文、著作、社会的な活動等

透析の論文はアメリカ機械学会で最優秀賞受賞，血液浄化心不全研究会の世話役等

第5回〈第9・10講〉令和7年11月8日（土） 9：30～12：40

◆講 師 静岡理科大学 理工学部 建築学科 教授 長尾 亜子

◆講義テーマ 高齢者のウェルビーイングを実現する住空間

◆講義内容

既存の住空間は「活動的な人物像」が想定されて計画され、社会に提供されている。そのような住空間は身体が弱くなっていく高齢者には暮らしにくい側面もある。では高齢者が生き生きと生活することを可能とする住空間の在り方とはどのようなものだろうか。高齢化社会における心地の良い住空間について、事例を通して考察する。

◆課題実施方法

授業中並びに終了時に実施するレポートを10点満点で評価する。

◆参考図書等

特になし

◆Eメールアドレス

nagao.ako@sist.ac.jp

.....

【講師プロフィール】

◆専門分野

建築意匠設計デザイン

◆主な研究テーマ

まちと建築の関係から「場」に寄与する「建築のかたち」を分析

◆主な論文、著作、社会的な活動等

上記専門分野、研究テーマに関する著作、論文を執筆。また、建築設計活動を通じて社会に発信を行っている。参考サイト <https://researchmap.jp/akonagao> ,
<https://www.iwahorinagao.com>

◆講 師 常葉大学 保健医療学部 作業療法学科 教授 篠原 和也

◆講義テーマ 一人ひとりの暮らしと生きがいを振り返る—作業療法の理論を用いて—

◆講義内容

地域共生社会とは、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を指します。

そして、こうした地域共生社会の構築において、住民が相互に一人ひとりの暮らしや生きがいについて知り、共有し合うことが重要であると考えます。

本講義では、人（皆さん）の暮らしと生きがいについて、作業療法の理論を用いて検討し、理解を深めることを目的とします。

◆課題実施方法

授業終了時に作成するレポートを10点満点で評価する。

◆参考図書等

特になし

◆Eメールアドレス

ksinohara@hm.tokoha-u.ac.jp

【講師プロフィール】

◆専門分野

作業療法，リハビリテーション，人間作業モデル

◆主な研究テーマ

セラピストの技能を高める教育システムの開発

◆主な論文、著作、社会的な活動等

1. 篠原和也，葛谷憲彦，鈴木ゆい，山本武，鹿田将隆：臨床リハビリテーション場面におけるクライアントとより良い関係を形成するためのコミュニケーションと介入技能評価の開発．作業療法 43 (3) : 511-520, 2024.

2. 篠原和也，青柳翔太，廣野新，吉政豪也，鹿田将隆，山田 孝：入院および介護保険サービスにおける作業療法利用者に対する「作業に関する自己評価・短縮版」の信頼性に関する研究．作業行動研究 28 (1) : 18-27, 2024.

第7回〈第13講〉令和7年11月29日（土） 9：30～11：00

【特別公開講座】

◆講 師 聖隷クリストファー大学 社会福祉学部長 佐藤 順子

◆講義テーマ 少子高齢社会における福祉政策の動向と課題
—「地域共生社会」の構築における住民参加への期待に対する一考察—

◆講義内容

少子高齢社会の進展に伴い2015年以降新たに「地域共生社会」構築が提起されるようになり、今まで以上に住民参加が期待されている。本講義では、政策の変遷と新たな政策の趣旨、期待される住民の役割等について概説した後、市民・住民の立場で、地域生活課題解決に市民・住民が関与することの意義と方法を考察する。

◆課題実施方法

第14講の講義終了時に作成する第13講・第14講に関するレポートを10点満点で評価する。

◆参考図書等

厚生労働省「地域共生社会のポータルサイト
<https://www.mhlw.go.jp/kyouseisyakaiportal/>

◆Eメールアドレス

junko-s@seirei.ac.jp

.....
【講師プロフィール】

◆専門分野

社会福祉学 地域福祉 コミュニティワーク

◆主な研究テーマ

地域福祉推進における社会福祉協議会の機能と役割、地域福祉推進基礎組織の意義と支援のあり方

◆主な論文、著作、社会的な活動等

コミュニティ制度化と地域福祉の課題（地域福祉研究No. 38 2010年）
地域福祉の時代とソーシャルワーク：ソーシャルワーカーが軸足に据えるべきものを問う（ソーシャルワーク実践研究（6）2017年）
地区社協の主体的力量向上に向けた課題—「先進地区社協」の諸要因の分析をとおして—（聖隷クリストファー大学社会福祉学部紀要 No. 21 2023年）

第7回〈第14講〉令和7年11月29日（土） 11:10～12:40

【特別公開講座】

◆講 師 聖隷クリストファー大学 社会福祉学研究科長 川向 雅弘

◆講義テーマ 共生社会の実現と障害がある人への支援
ー「障害」をめぐる、過去・現在・これからー

◆講義内容

「障害者」は特別な存在として、これまでさまざまな社会的「例外」にさらされてきた。そもそも「障害者」とは誰のことなのか。なぜ、「障害者」という社会的なカテゴリーが必要となるのか。「障害者」が置かれた歴史と今日的課題までを概説し、連綿と続いている「障害者」を取り巻く課題を再確認しながら、障害がある人にとっての共生社会のあり方を考察する。

◆課題実施方法

第14講の講義終了時に作成する第13講・第14講に関するレポートを10点満点で評価する。

◆参考図書等

講義当日に配布する。

◆Eメールアドレス

masahiro-k@seirei.ac.jp

.....
【講師プロフィール】

◆専門分野

社会福祉学、高齢者支援領域・障害者支援領域等をフィールドとしたメゾレベルのソーシャルワーク論

◆主な研究テーマ

ソーシャルワークの価値にかかわる実践課題の研究

◆主な論文、著作、社会的な活動等

・『『制度化』された『自己決定支援／意思決定支援』・・・それ以前に取り組まなければならないこと』『ソーシャルワーク実践研究』21 ソーシャルワーク研究所、2025年。

・「ソーシャルワークの『価値』と『社会的コスト』」『人間社会学研究』15(1)関西学院大学人間社会学部研究会、2022年。

・北川清一/川向雅弘 監修『社会福祉への招待』ミネルヴァ書房、2017年。

・北川清一/川向雅弘 監修『ソーシャルワークへの招待』ミネルヴァ書房、2017年。

・北川清一/川向雅弘 監修『子ども家庭福祉への招待』ミネルヴァ書房、2017年。

浜松市社会福祉審議会地域福祉分科会会長、浜松市障がい者自立支援協議会会長、浜松市社会福祉協議会コミュニティソーシャルワークアドバイザー他

第8回〈第15講〉令和7年12月6日（土） 9：30～11：00

◆講 師 浜松学院大学 地域共創学部 地域経営学科 講師 清水 友理子

◆講義テーマ 観光業における女性の労働と地域社会

◆講義内容

政府は「観光は、我が国の力強い経済を取り戻すための極めて重要な成長分野」と位置づけ「観光先進国」の実現を目指している。他方、宿泊業・飲食サービス業は入職率・離職率ともに高く、また女性の非正規労働者によって支えられてきた産業であり、人材の安定が課題として常に指摘されている。

講義では、宿泊産業で働く女性労働の実態を捉えることを通して、観光産業を支える女性労働者たちの「仕事」と彼女らの「暮らし」の関係について考える。

◆課題実施方法

授業終了時に作成するレポートを5点満点とし、第16講と合わせて計10点で評価する。

◆参考図書等

特になし

◆Eメールアドレス

shimizu@hamagaku.ac.jp

【講師プロフィール】

◆専門分野

労働社会学 観光社会学

◆主な研究テーマ

観光産業の女性労働、伝統産業における職人労働

◆主な論文、著作、社会的な活動等

『労働環境の不協和音を生きる-労働と生活のジェンダー分析』（2024）晃洋書房

◆講師 浜松学院大学短期大学部 幼児教育科 教授 松澤 俊行

◆講義テーマ 「ユニバーサルスポーツ」を考える

◆講義内容

「ユニバーサルスポーツ」とは、「障害の有無に関係なく、一緒に実践できるスポーツ」と説明されます。（参考：コトバンク）この講義では、ユニバーサルスポーツの実例や指導方法について解説し、その後、各自で新たなスポーツを考案して進行や指導の様子をシミュレーションしてみます。

◆課題実施方法

提示された条件で行えるユニバーサルスポーツを新たに考え、レポート（5点満点）として提出。

◆参考図書等

障害者スポーツの初歩的な指導方法ハンドブック（スポーツ庁）

https://www.mext.go.jp/sports/content/20240718-spt_kensport01-000036958_05.pdf

◆Eメールアドレス

matsuzawa-t@hamagaku.ac.jp

.....
【講師プロフィール】

◆専門分野

健康教育学 野外教育

◆主な研究テーマ

学校の授業へのナビゲーションスポーツの導入方法の研究

◆主な論文、著作、社会的な活動等

「健康と運動の理論と実践」（杏林書院 2023年発行）

『10章 手軽に始めるウォーキングのすすめ』執筆

日本スポーツ協会公認 オリエンテーリングコーチ1

日本パラスポーツ協会公認 初級パラスポーツ指導員

◇お問い合わせ先について

▼共同授業並びに出願に関するお問い合わせは、下記にお願いします。

※学生の皆さんは、在籍する大学へお問い合わせください。

※一般市民の方は（一般市民出願受付担当）と記載されている大学へお問い合わせください。

■単位認定校

聖隷クリストファー大学 教務事務センター
〒433-8558 浜松市中央区三方原町 3453
TEL 053-439-1433
FAX 053-437-6782

■共同授業部会事務局

浜松学院大学・短期大学部 学務グループ
〒432-8012 浜松市中央区布橋 3-2-3
TEL 053-540-3938
FAX 053-450-7110

■大学事務局

静岡大学 浜松教務課共通教育係
（一般市民出願受付担当）
TEL 053-478-1022

静岡文化芸術大学 教務・学生室
TEL 053-457-6114

静岡大学 浜松教務課情報学部教務係
TEL 053-478-1511

常葉大学 浜松教務課
TEL 053-428-3511

静岡理工科大学 学務課
TEL 0538-45-0114

静岡産業大学 教務課
TEL 0538-37-3852

■行政

浜松市企画調整部企画課
〒430-8652 浜松市中央区元城町 103-2
TEL 053-457-2241
FAX 050-3730-1867

磐田市企画部政策推進課
〒438-8650 磐田市国府台 3-1
TEL 0538-37-4805
FAX 0538-36-8954

袋井市企画部企画政策課
〒437-8666 静岡県袋井市新屋 1-1-1
TEL 0538-44-3158
FAX 0538-44-3150